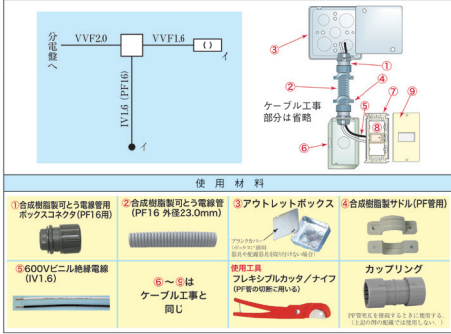


2021 年版 第二種電気工事士筆記試験模範解答集
正誤表

ISBN コード：978-4-485-21479-4
発行日：2020 年 12 月 5 日
更新日：2021 年 2 月 12 日

頁	箇所	誤	正												
34	<p>4. 合成樹脂管 工事（合成樹 脂製可とう電 線管工事）</p> <p>※解説を右の ものに変更</p>	<p>● PF 管を使用した例</p>  <table border="1" data-bbox="427 491 878 651"> <thead> <tr> <th colspan="4">使用材料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①合成樹脂製可とう電線管用 ボックスコネクタ (PF1.6用)</td> <td>②合成樹脂製可とう電線管 (PF1.6 外径23.0mm)</td> <td>③アウトレットボックス</td> <td>④合成樹脂製サドル (PF管用)</td> </tr> <tr> <td>⑤600Vビニル絶縁電線 (VV1.6)</td> <td>⑥～⑧は ケーブル工事と 同じ</td> <td>使用工具 フレキシブルカッター/ナイフ (PF管の切断に用いる)</td> <td>カップリング <small>（材質等を指定するときは使用する 上記の材料表での表記を要しない。）</small></td> </tr> </tbody> </table>	使用材料				①合成樹脂製可とう電線管用 ボックスコネクタ (PF1.6用)	②合成樹脂製可とう電線管 (PF1.6 外径23.0mm)	③アウトレットボックス	④合成樹脂製サドル (PF管用)	⑤600Vビニル絶縁電線 (VV1.6)	⑥～⑧は ケーブル工事と 同じ	使用工具 フレキシブルカッター/ナイフ (PF管の切断に用いる)	カップリング <small>（材質等を指定するときは使用する 上記の材料表での表記を要しない。）</small>	
使用材料															
①合成樹脂製可とう電線管用 ボックスコネクタ (PF1.6用)	②合成樹脂製可とう電線管 (PF1.6 外径23.0mm)	③アウトレットボックス	④合成樹脂製サドル (PF管用)												
⑤600Vビニル絶縁電線 (VV1.6)	⑥～⑧は ケーブル工事と 同じ	使用工具 フレキシブルカッター/ナイフ (PF管の切断に用いる)	カップリング <small>（材質等を指定するときは使用する 上記の材料表での表記を要しない。）</small>												
85	<p>問 36 解説文</p>	<p>⑥で示す部分の接地工事は、単相 3 線式 100/200V 電灯分電盤の金属製外箱の接地なので、電技解釈第 29 条により D 種接地工事を施す。また、電技解釈第 17 条により、電路に 0.1 秒以内に動作する漏電遮断器が設置されているので、接地抵抗値は 500Ω 以下であればよい。</p>	<p>⑥で示す部分の接地工事は、単相 3 線式 100/200V 電灯分電盤の集中接地端子の接地工事なので、電技解釈第 29 条により D 種接地工事を施す。また、電技解釈第 17 条により、電路に 0.1 秒以内に動作する漏電遮断器が設置されているので、接地抵抗値は 500Ω 以下であればよい。なお、集中接地端子は、コンセントの接地極などに施す接地工事の接地線を集中して接続し、接地極に至る接地線を共用させる目的で住宅用分電盤に施設される。</p>												